

■委員からの主な意見と対応(メールでの意見照会:12月27日～1月12日)

○…反映済み △…一部反映済み ×…反映せず

No.	該当部分		意見・質問 (原文)	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
1	第1章	3頁	「4 計画の対象範囲」の図*ですが、記載されている模式図(Venn diagram)は、概ねの範囲を示したものとご説明だったと思いますので、この文章は、「本計画の対象とする環境保全の範囲の概略は次の図のとおりとします。」とすべきだと思います。また、黄色い「都市環境」の枠組みでの最初の項目は、「廃棄物施設、上下水道、環境にやさしい交通システムなどの都市基盤の整備」、とされてはいかがでしょうか。なお、用いる用語については13頁などにある用語「環境にやさしい交通システム」あるいは、「環境にやさしいモビリティ」ないし「公共交通機関」などの候補があり得ると思います。	△	3	・「本計画の対象範囲の概略」に修正しました。 ・「都市環境」の範囲については、一般的なインフラ環境として表現するため、現行どおりとしました。
2	第1章	3ページの図	・現在、世界的な環境問題は地球温暖化とプラスチック問題があり、このことが言われて久しい。プラスチックに関する問題は図のどこに入っているのでしょうか。プラスチック削減の指摘が弱くなっている。	—	—	・近年のプラスチック問題については、資源循環の推進および廃棄物の適正管理の範囲に含まれるものと考えています。 ・プラスチック削減については、施策2「循環型社会の推進」の中に現状の課題も含めて今後の取組み内容に記載しています。(33、39ページ)
3	第1章	3ページの図	・自然環境内は保全と保護だけで、現状維持のみです。P6の1行目に「少なくとも」とありますが、政令指定都市の環境政策としては新たに推進すべき場所やものを検討していくべきだと思います。新潟駅前の緑の環境整備とか中央区だけでなく各区の環境改善や、素晴らしい環境を他県や世界に発信してその良さを知らせるべきだと思います。	—	—	・ご意見として関係課等にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
4	第1章	3ページの図	・都市環境において廃棄物処理施設や上下水道などの都市基盤の整備が入るならば、橋などの老朽化したインフラ整備の記載はいかがでしょうか。	×	—	・橋も道路に含まれるものとして、現行通りとしました。

○…反映済み △…一部反映済み ×…反映せず

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
5	第1章	3ページの図	・図の表題は保全だけでなく、「環境保全と推進の範囲」だと思います。	△	3	・限定的な表現をでなく、「本計画の対象範囲の概略」に修正しました。
6	第1章	3ページ	図中の自然環境の保全で、「（水辺、里山など）」とありますが、前回の審議会で、新潟市の特徴的な自然環境には海岸（砂浜、海岸林を含む）もあるという意見が多かったと思います。「（水辺、里山、海岸など）」という表現のほうが良いのではないのでしょうか。	○	3	・「田園、里山、水辺・海岸」に修正しました。
7	第1章	7ページ	資料2の7ページの「2 計画に基づくこれまでの取り組み」の中に、「成果指標」という言葉があります。17ページの「2 施策の実施状況の確認について」の中で「成果指標」の解説をしていますで、7ページの方に（17ページで詳述）という文言を入れるか、17ページの説明を7ページより前に持ってくる等の工夫が必要かなと思いました。	○	8	・第4次計画では、「成果指標」について、施策全体の達成状況を確認するものと整理しており、施策の進捗状況を把握するための指標である第3次計画の「成果指標」とは少し意味合いが異なっています。 ・誤解が生じないよう、「第3次計画における評価指標」という表現に修正しました。
8	第1章	9ページの表	・Ⅱ循環型社会の創造の表は、同じ項目が2行ずつにわたって記載されているが、目標値と実績値は最新のものだけで良いのではないのでしょうか。	△	8～11	・第3次計画全体の評価という観点から、見直し前の指標も記載しています。 ・最新の指標がすぐ分かるよう、終了または変更となった指標はグレーで表示し、注釈を追加しました。
9	第1章	9ページの表	・Ⅲ生物多様性の保全のハクチョウとの共存は、生息環境（緑地や湖沼）に変化がないかと合わせて調査しておくことが大切だと思います。	—	—	・ご意見として、今後の参考とさせていただきます。

○…反映済み △…一部反映済み ×…反映せず

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
10	第1章	9ページの表	・環境保全型農業の割合を調査することは農業形態が大きく変化しているので難しいと思いますが、実績値が基準値よりも大きく低下していることは問題であり、右ページの評価と課題に原因と思われることを記載すべきだと思います。	○	11	ご意見を踏まて、評価の欄に大きく下回った要因を追加しました。
11	第1章	13ページ	・将来の都市像の項目の中に、他市(日本だけでなく、国際交流も含む)との交流なども率先して入れるべきだと思う。	—	—	・次回の改定時に項目の追加を検討させていただきます。
12	第1章	15ページ(図)	16ページ(及び資料1)の図で示されている「将来世代に向けた豊かな自然と生活環境の保全」(市総合計画施策16)は、環境部門の目標(役割)の集約として15ページの施策大綱の図にも含めると良いのではないかと思います。	○	16	・ご意見を踏まえて修正しました。
13	第2章	2章全体を踏まえた16頁～17頁の記述について	光化学オキシダント、COD、防砂林、プラスチックリサイクル、モビリティなど、市の管轄、権限を越える部分で連携、対策が必要とされる部分が多くありますので、県、国と共に国際的な問題状況の把握と対策に取り組む点についても、言及しておくべきかと思います。その際、SDGsは、人々の基本的ニーズ、機能の充足という意味でのウェルビーイングの向上を目指すものですので、17のゴールの個別項目の成果を示すだけでなく、全体としての環境から得られる住民の福利にマイナスな要因を放置しないことも大事です。	○	69	・第4章「計画の推進」、第2節「計画の推進体制」の中に「市役所内外の関係機関と連携した取組みの推進」を追加し、国や県、近隣市町村との連携を記載しました。
14	第2章	24ページ	4～5行目「～全国トップの農業産地です。」とありますが、疑問があります。トップとした根拠は何でしょうか。	○	26	・次期総合計画の文章を踏まえて、文章全体を修正しました。

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
15	第2章	24ページ8行目	・100年あたり(○年～○年)としたほうが良い。	○	26	・ご意見を踏まえて修正しました。
16	第2章	25頁及び26頁(再掲)	参考指標の指標項目に「電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)台数」とありますが、データがあれば4種挙げて「BEV」「HEV」「PHEV」「FCEV」表記の方が良いかと思います。また、自動車依存度が高いことが問題と挙げているのですから、「公共交通利用者率」、ないし「公共交通利用者数」も参考指標に加えた方が良いのではないのでしょうか。	△	27	・ご意見を踏まえて、公共交通に関連する指標を追加しました。 ・次世代自動車の種類については、用語集の中で言及します。
17	第2章	27ページ14行目	・自然災害の予測精度の向上、多量の雨水排水のための設備増強、温暖化による緑地の点検等を入れて欲しい。	×	—	ご意見については、関係課と情報共有しながら、今後の参考とさせていただきます。
18	第2章	29ページ9行目、31ページ27行目、37ページ4行目	・ゴミ処理体制の整備に関して、統合・更新が各所に強調されている。これまで他区で処分していた廃棄物まで江南区処理場に廻され、江南区民にとってはさまざまなデメリットが発生している。明らかなメリットをこの時期に公開して付加すべきである。東北電力地域にある東京電力のように、個人的な希望としては、少なくとも焼却場近くの小・中学生の希望者に、プログラミングのような最新技術習得のための講習会を毎年開催していただきたい。人材育成であり、やがては市に貢献すると考えます。	—	—	・ご意見として、今後の参考とさせていただきます。
19	第2章	同上	31ページ1行目によると、プラスチック類86.2%は全てリサイクル可能と言う前提ですが、新潟市のHPには「汚れたものはリサイクルできません」と記載されています。 86.2%中に、市民が汚れていると判断して入れたものはありませんか？それらを資源化できる設備はありますか？	—	—	・汚れているプラマーク容器包装については、水で軽くすすぐか、拭き取ってから出していただくようお願いしています。 ・燃やすごみに含まれているプラマーク容器包装については、汚れているものもあれば、きれいな状態のものも含まれており、資源に回せるものは、できるだけプラマーク容器包装の日に出してもらいたいと思っています。

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
20	第2章	同上	もし汚れの有無に関わらず資源化できるのであれば、プラマークのついているものは全て「プラマーク容器包装」として扱えます。行政としてどのように計画されていますか？	—	—	・資源化できるプラマーク容器包装は、汚れていないものを対象としており、汚れのひどいものは燃やすごみとしています。
21	第2章	31頁	<p>「図※：家庭系ごみ(燃やすごみ・プラスチック類)の組成割合(全市加重平均)」について、この「・」が並列を意味すると解釈すると、家庭系ごみの収集区分の「燃やすごみ」及び「プラスチック類」、をそれぞれ左右に表示しているのではないかと誤解してしまいます。第3回審議会でも委員からご指摘があった通りです。</p> <p>そうでない、つまり、燃やすごみの内訳のプラスチック類の、さらにその内訳がプラスチック類の内訳であるプラマーク容器包装、その他プラスチック、プラスチック以外、ペットボトルである、ということであるとすると、図の見出しは「図※：家庭系ごみの組成割合(全市加重平均、左図は燃やすごみの組成割合、右図はその内訳にあるプラスチック類の詳細な組成)」、としたほうが良いと思います。</p> <p>また、プラマーク容器包装のリサイクル率を上げる施策と思われる「さらなる分別の推進が必要であり、効果的な広報を進めていく必要があります。」との記述ですが、汚れた状態で混入していることが多いと考えられるプラマーク容器包装をさらに分別回収することは、油污れ等の場合によっては温水、洗剤、漂白剤などをゴム手袋をして使用し、さらにそれらの汚れが下水道や浄化槽を通じて河川および海域に環境負荷を与えるため、一定程度以上の分別回収は、分別回収のための資源とエネルギーの消費により、省資源、省エネルギーの全体目標がかえって低下することになりかねません。従って、既に消費者の判断で燃やすごみに入れられているプラスチック類が水と洗剤、手間が多量に必要となる汚れた状態であれば、これを無理に資源リサイクルへと促すことは避けた方が良いでしょう。一方でプラスチック包装やトレイなどの簡素化、減容化や焼却処理に負荷をかけない材質、リサイクル素材の活用などはまだ推進の余地があると考えます。広報の方向性もそのような総合的な省資源、省エネルギーの考え方で行ってはいかがでしょうか。</p>	○	33	<p>・誤解がないよう、図表を「家庭系ごみの組成割合」のみとしました。</p> <p>・ご意見を踏まえて、汚れたプラマーク容器包装やペットボトルの資源化について、文章に追加しました。</p>
22	第2章	34ページ	3Rの推進によるごみの減量に「分別の徹底及び適正処理をより一層促進することでさらなる資源循環を進めます」とあります。プラスチック類の86.2%を資源化することが、資源循環に資することになるのでしょうか。汚れを除去する為の洗浄にかかる省エネとのバランスは、どうなるのでしょうか？ 見解を教えてください。	○	33	・ご意見を踏まえて、汚れたプラマーク容器包装やペットボトルの資源化について、文章に追加しました。

○…反映済み △…一部反映済み ×…反映せず

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
23	第2章	36ページ	・株式会社クラダシは何をしているか、上部の右四角のなかに簡単な会社説明を付記することはできませんか。	○	39	・会社説明を追加しました。
24	第2章	40ページ	14行目 外来種の例に、近年激増しているセイタカアワダチソウも追加してはどうか。	○	44	・ご意見を踏まえて修正しました。
25	第2章	44ページ2行目以下	・生活環境のなかに、特色ある町づくりや人を呼ぶ町の形成(創造)という表現を入れるのはいかがでしょうか。	×	—	・環境基本計画の趣旨・目的から現行通りとしました。
26	第2章	48ページ	・縦軸の数値の左側に縦書きでも、横書きでも良いが、汚水処理人口普及率(%)と入れる。題だけで%は数値の上でも良い。資料2の図も同じ。	○	54	・ご指摘のとおり修正しました。
27	第2章	40頁	里山生態系の外延部として、海岸防砂林も加えて考えるべきと思います。海岸防砂林は一部は江戸時代から育成されたもので、小動物の移動などを通じて、弥彦、角田山からの里山生態系に接続した生態系を形成しているためです。近年、立ち枯れ、倒木が増加し、一部は更地化していることも鑑みると、松くい虫対策の薬剤防除と伐採だけではなく、生態系の維持と拡充のための対策強化が望まれます。	△	3	・計画の対象範囲(自然環境)に「海岸」を追加しました。 ・個別の具体的な対策については、関係課と情報共有し、今後の検討とさせていただきます。

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
28	第2章	50頁	CODの環境基準が未達成(悪化傾向)があるのであれば、参考指標はBODに加えてCODも必要ではないか、と考えます。	×	—	・海域CODについては、市のみの施策で改善することが困難と考えられるため、参考指標はBODのみとしたいと思います。
29	第2章	51ページ(関連53ページ)	⑦ 環境への負荷が少ない農業の推進〔参考指標〕面積の単位が「a」となっているが「ha」が適当と考える。	×	—	・農林水産部の数値目標にあわせて、現行通り「a」表記としました。
30	第3章	55頁	「6 ごみを出さないライフスタイルを実践します」について 「・不要なレジ袋や使い捨て容器をもらわない」については、レジ袋や容器、スプーンなどの有料化と環境配慮素材の義務化により、環境負荷を与えるとされる容器包装類を「もらえる」状況はなくなりましたので、記述を削除ないし修正した方が良いと思います。また、「・ごみと資源をしっかりと分ける」で問題ありませんが、31頁についての意見3で述べましたように、汚れが激しい「分類上の資源」を追加の資源とエネルギーを使って無理に資源リサイクルすることは、それをごみとして燃やしてサーマルリサイクルした場合よりも資源、エネルギーを消費する可能性があります。	○	64	・ご意見を踏まえて、「日ごろからマイバックやマイボトルを持ち歩く」に修正しました。 ・また、汚れたプラスチック類の資源化については33ページの文章に追加しました。
31	第3章	55ページ	⑪の主な取り組み例に、「生き物や植物」とありますが、これは動物と植物を意味しているのでしょうか？動物や植物に限らず、生物全般を指したほうが良いと思いますので、「生き物(動物や植物など)」という表現のほうが適していると思います。	○	65	・ご意見を踏まえて「動植物」に修正しました。
32	第4章	63頁	「3 進捗状況の調査・審議」については、まずタイトルを「3 進捗状況の調査および審議」、本文を「調査・審議」を「調査および審議」に変えてはいかがでしょうか。理由は31頁についての意見でも述べましたが、並列表現であるのか、何等かのより複雑な意味関係にあるのか？「・」で接続するとわかりにくいからです。また、第3回環境審議会の委員のご意見でもありましたが、環境審議会の位置づけを含め、もう少し各機関の役割について記述を行った方が良いと思います。	△	70	・ご意見を踏まえて、タイトルを「調査および審議」に修正しました。本文については、タイトルを並列表記とすることで関係性が分かることから現行通りとしました。 ・環境審議会の位置づけを追加し、図表も修正しました。

○…反映済み △…一部反映済み ×…反映せず

No.	該当部分		意見・質問（原文）	事務局の考え方		
	章	ページ		対応	修正頁	コメント
33	全体	1ページ 13行 3ページ 28行、29行 など	検討されている素案の内容は、第4次新潟市環境基本計画の「策定」ですので、「改定」という標記に少し違和感があります。「第3次計画の改定」と記述する際は良いのですが、第4次計画については「策定」で統一される方が分かり易いように思います。（本文中に、「改定」と「策定」の両表現が用いられています。）	○	全体	・ご指摘のとおり修正しました。